

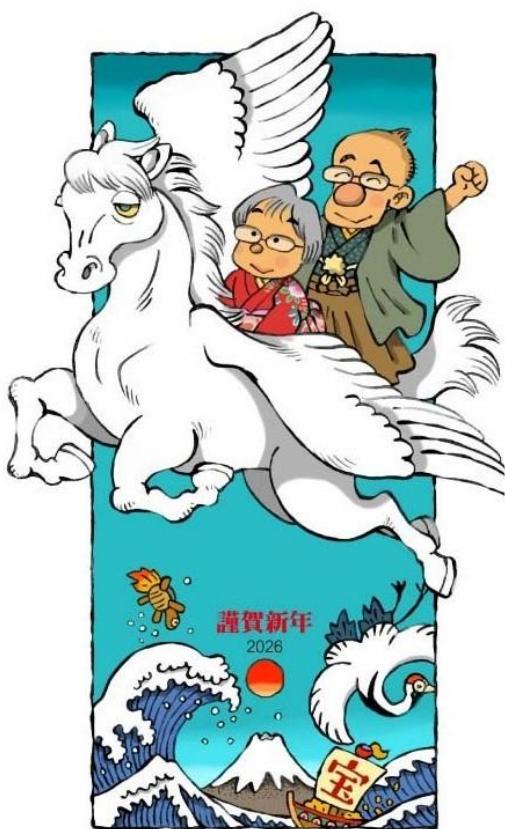
新年ご挨拶

会長 垣見祐二(大25期)

柑芦会の皆様へ新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

近年、冬の寒さも昔ほどは厳しくなくなったように感じます。昭和30年代、比較的温暖な浜松市の実家でも、朝、道ばたに霜柱が立ち、潰しながら歩いたことや、小学校の「鏡の池」と呼ばれた小さな池が厚い氷に覆われ、その上でスケートごっこをしたことを懐かしく思い出します。あの頃は冬の当たり前の風景でしたが、半世紀を経て随分冬が暖かくなり、故郷でそうした光景を見かけることはなくなりました。さらに半世紀後、冬の景色はどう変わっているのでしょうか。



(イラスト 伊藤正章)

さて、私たちの同窓会は本年、設立百周年を迎えます。記念行事として、11月29日に木テルグランビア和歌山にて記念式典・講演会・パーティを開催いたします。また、記念事業として、現役学生への奨学金提供や大学図書館等への資金支援を計画しており、そのための基金として寄附金募集を行う予定です。

大正時代に始まり、百年の時を越えて続いてきた「世代を超えた同窓生のつながり」という価値を、これからも大切に継承してまいりたいと存じます。つきましては、記念行事へのご参加と寄附金募集へのご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、柑芦会活動への引き継ぎのご協力と、皆様ならびにご家族のご健勝とご多幸、そしてますますのご活躍を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。